

オーナー名	株式会社ミヨシ産業			
業種	大分類	卸売業・小売業	中分類	建築材料、鉱物・金属材料等卸売業
HP	https://www.miyoshi-san.co.jp/			

ZEBへの取組み目標（2030年中長期計画）

【地域連携による大規模木造ZEBの標準化と脱炭素モデルの構築】

当社は「住まいづくりの総合商社」として、カーボンニュートラルの実現に向け、国内初となる延床面積3,000㎡超の「純木造（CLT活用）・4階建て・『ZEB』」による新社屋建設プロジェクトを推進する。

本事業を通じ、以下の目標に取り組む。

1. 「生きたショールーム」によるZEBの体感と普及促進

新社屋を、最新の環境技術と木造建築の快適性を五感で確認できる「次世代型ライブオフィス」として位置づける。

カタログや数値だけでは伝わりにくい「木造ZEBの空間価値」をお客様や関係者に実体験してもらうことで、ZEB関連商材およびCLT工法の普及加速と市場拡大を牽引する。

2. 地域連携による「健康省エネ」基準の非住宅への展開

鳥取県と普及活動を行っている鳥取県独自の健康省エネ住宅基準「NE-ST」の概念を、本プロジェクトを通じて非住宅分野へ拡大・適用する。

また、産官学連携で取り組む「とっとり都市木造推進協議会」の活動として、本建築を地域の木造建築推進のフラッグシップとする。

さらに、県産材の積極活用や、屋内緑化によるウェルビーイング向上を組み合わせ、「省エネかつ健康的で快適な働く場」の実証モデルを構築する。

3. ノウハウの公開と市場リーダーシップの確立

BIMを活用した設計・施工データや、運用段階でのエネルギー自給自足実績を「ZEBリーディング・オーナー」として積極的に開示する。

未だ事例の少ない大規模木造ZEBの技術的・経済的メリットを可視化し、地域社会および建設業界全体の脱炭素化をリードする。

導入実績・導入計画

[illegible]